

Windows ファイアウォールの例外設定手順

PrintPort for ACOS-2 をご使用される場合、Windows ファイアウォールの機能を有効にしていると、外部からの TCP/IP 通信がブロックされ、PrintPort の一部機能 (ホストからのデータ受信、リモート監視機能、LPR 印刷) が使用できなくなります。

以下の手順により、Windows ファイアウォール機能の例外 (許可されたプログラム) に PrintPort ソフトウェアを登録することにより、PrintPort の機能が使用できるようになりますので、お手数ですが、下記の設定をしていただけますようお願い致します。

設定手順

OS が Windows Server 2008 R2 の場合の手順を以下に示します。
他の OS の場合も同等の手順となります。

①Windows の [スタート] メニューから [コントロールパネル] をクリックします。

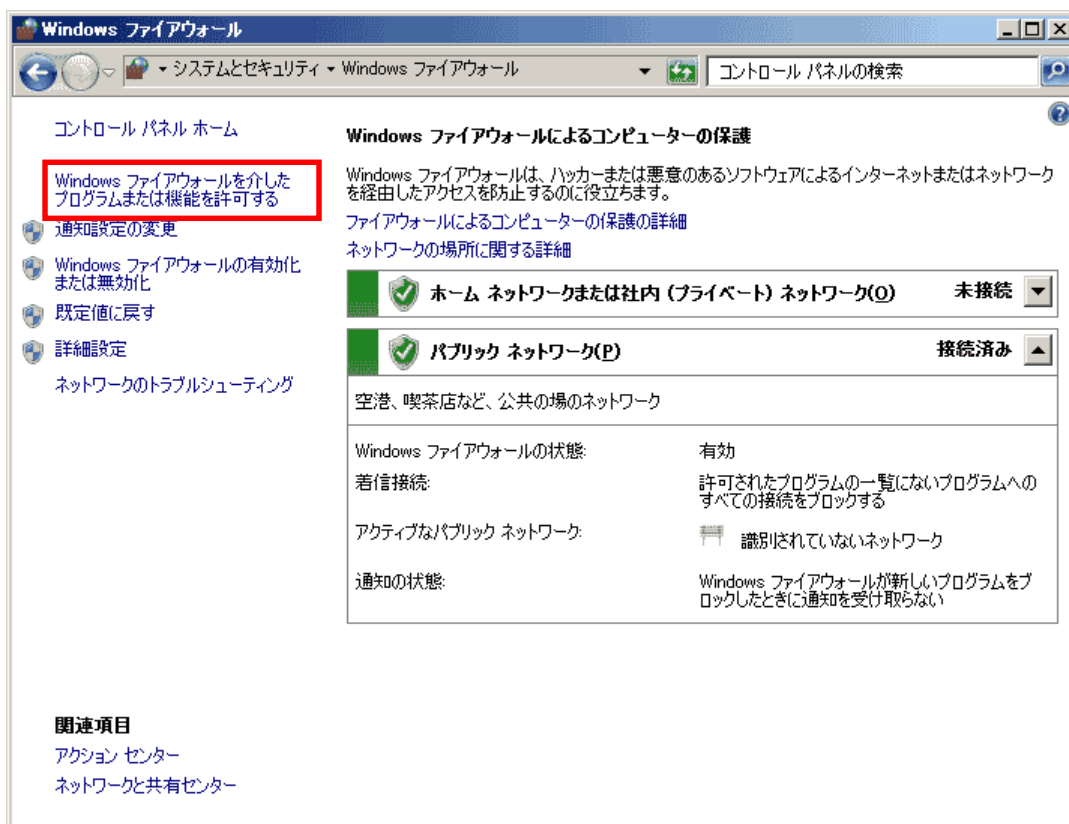
[コントロールパネル] 画面で [システムとセキュリティ] をクリックします。



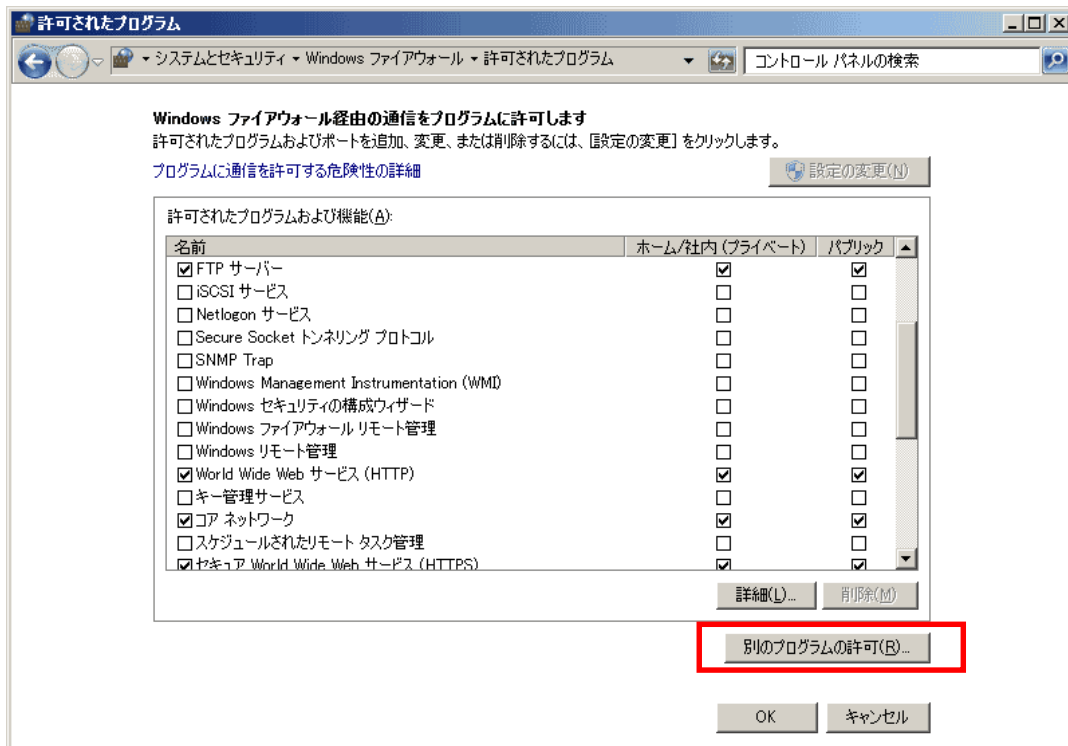
②[システムとセキュリティ]画面で[Windows ファイアウォール]をクリックします。



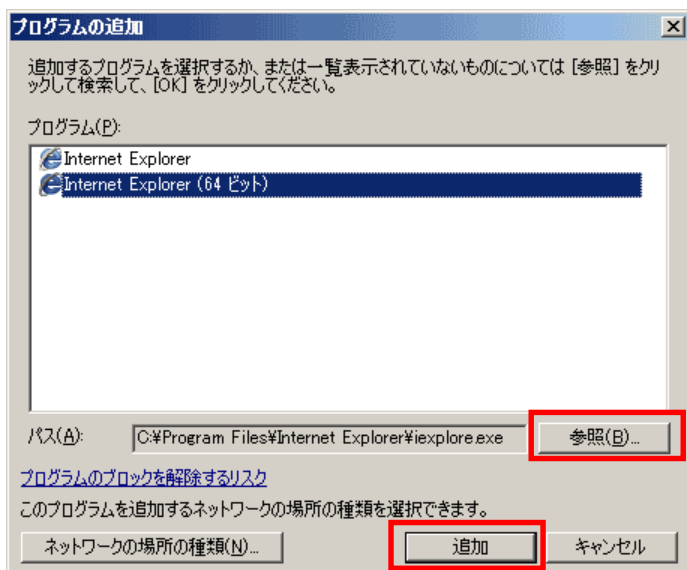
③[Windows ファイアウォール]画面で[Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する]をクリックします。



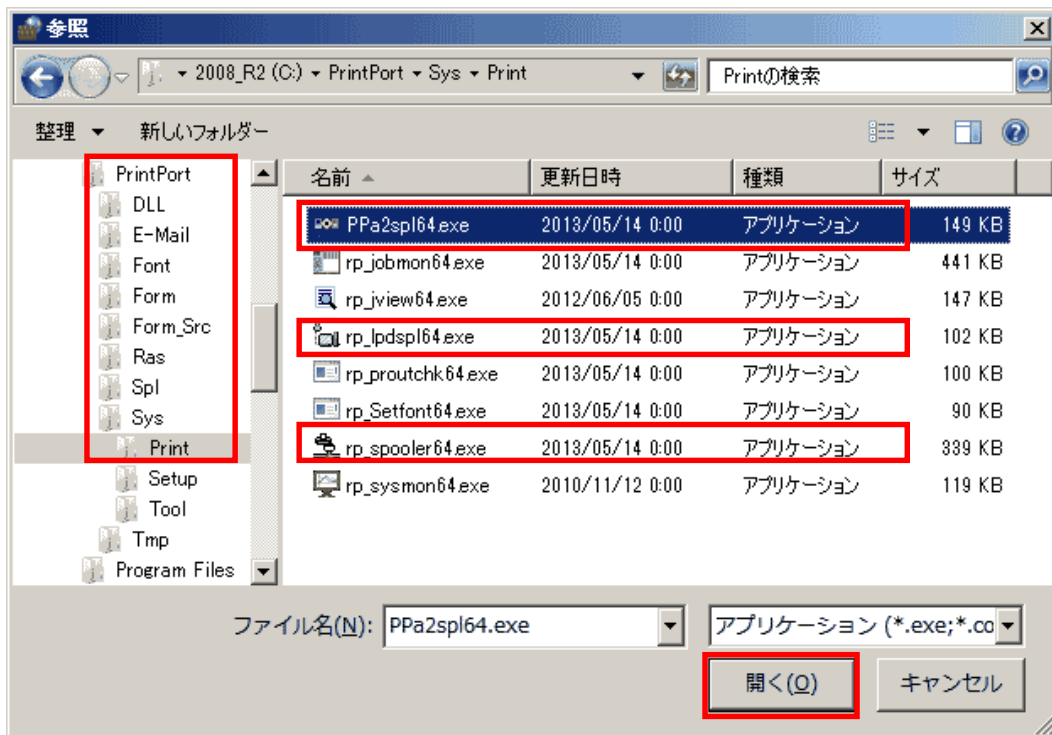
④ [許可されたプログラム] 画面で [別のプログラムの許可] をクリックします。



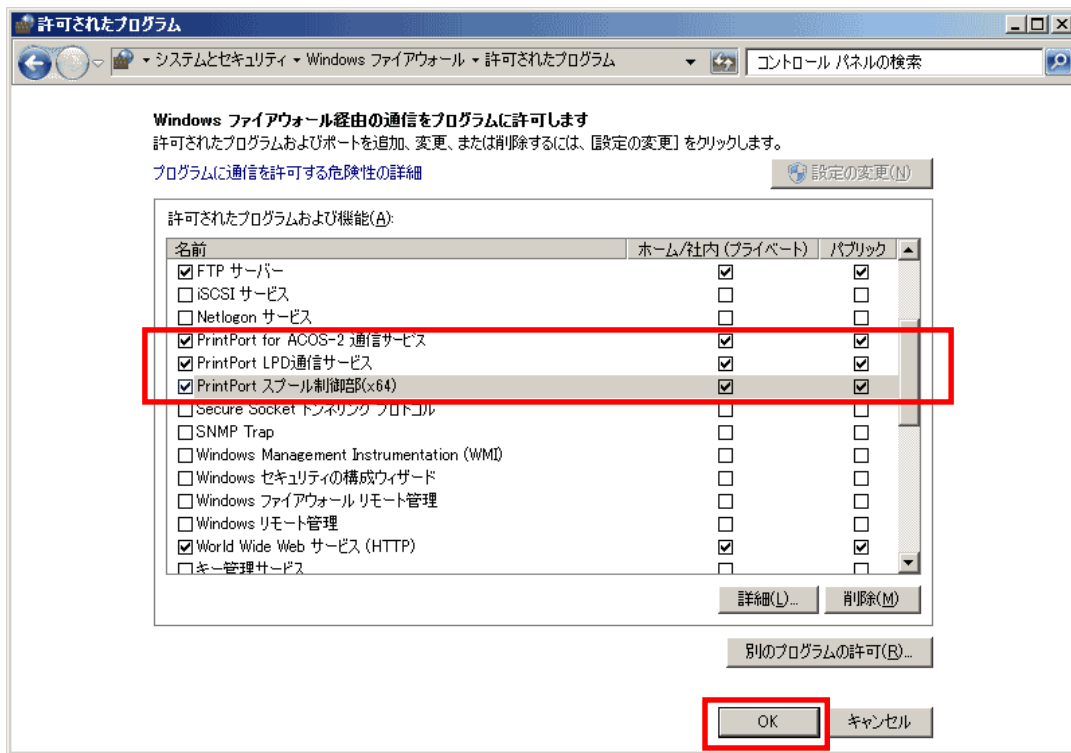
⑤ [プログラムの追加] 画面で [参照] をクリックします。



- ⑥ [参照]画面で (PrintPort インストールフォルダ)¥PrintPort¥Sys¥Print¥フォルダを選択します。
 「PPa2spl64.exe」を選択して、[開く]をクリックします。⑤の画面で[追加]をクリックし、再度④から実行します。
 同様に「rp_lpdsp164.exe」「rp_spooler64.exe」を選択し、例外(許可されたプログラム)に登録します。



- ⑦ [許可されたプログラム]画面で、以下を確認して、[OK]をクリックします。
- ・「PrintPort for ACOS-2 通信サービス」
 - ・「PrintPort LPD 通信サービス」
 - ・「PrintPort スプール制御部」
- それぞれの[ホーム/社内(プライベート)]欄、[パブリック]欄の口(checkbox)にチェック(☑)が付いていること。



- ⑧ [システムとセキュリティ]画面を閉じます。
 以上で設定は終了です。